

真福寺貝塚

— 調査の軌跡 —

— 舞臺の草創 —



みみずく土偶

画像提供：東京国立博物館

※みみずく土偶は複製品(当館蔵)を展示します

会期

平成28年10月8日(土)～11月20日(日)

開館時間

午前9時～午後4時30分

休館日

祝日と埼玉県民の日〔11月14日〕を除く月曜日、10月11日(火)、11月4日(金)、11月15日(火)

入場無料



- 大宮駅から徒歩15分
- 駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2
☎048-644-2322
<http://www.city.saitama.jp/004/005/004/005>



真福寺貝塚

— 調査の軌跡 —

真福寺貝塚(岩槻区城南3丁目)は、縄文時代後期から晩期に営まれた集落跡で、貝塚と低湿地遺跡(泥炭層遺跡)からなります。発掘調査の歴史は古く、本年は大正15年(1926年)に史前研究会(のちの大山史前学研究所)が発掘調査してからちょうど90年にあたります。この時の調査は、わが国における泥炭層遺跡の本格的な発掘調査のさきがけとして日本考古学史に刻まれています。

その後も学術調査は続き、今までに竪穴住居跡などの遺構や土偶・耳飾などの遺物が多く出土しています。また出土した土器は、真福寺泥炭層式として提唱されたこともあり、関東地方における縄文時代晩期前半の標識的な土器として認識されています。

今回の特別展では、日本考古学史の中での重要性を過去の発掘調査の成果を通して振り返りながら、改めて国指定史跡真福寺貝塚をひも解きます。



注口土器

平成元年調査C地点より出土
さいたま市教育委員会蔵

大正15年の泥炭層調査



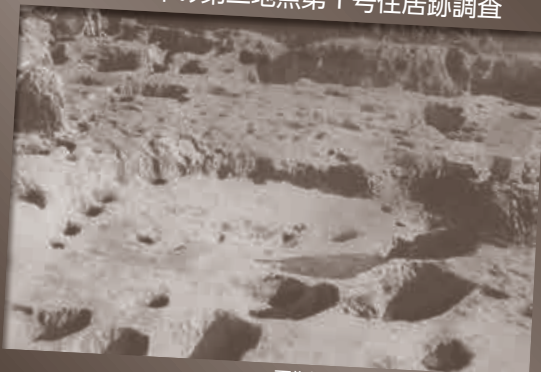
画像提供：くにたち郷土文化館

昭和15年の調査遠景



画像提供：くにたち郷土文化館

昭和15年の第二地点第1号住居跡調査



画像提供：同志社大学歴史資料館

関連講座 「さいたま市の史跡 —貝塚から藩校まで」

講師：青木 義脩 氏(さいたま市史編さん審議会委員)

11月20日(日) 午後2時～午後3時30分

会場：さいたま市立博物館講座室

定員：50名 費用：無料

申込方法：11月4日(金)午前9時から電話で博物館へ(先着順)

学芸員による展示解説

10月16日(日)・11月12日(土) 午前11時～・午後2時～ 各30分程度(申込不要)

学芸員による展示解説・小中学生向け

「真福寺貝塚の展示を見ながら大むかしの話を聞こう」

10月23日(日) 午前11時～・午後2時～ 各30分程度(申込不要)

特別展関連事業

岩槻郷土資料館企画展

『古写真や資料で見る 真福寺貝塚90年』

期間：平成28年11月29日(火)～

平成29年1月22日(日)

会場：岩槻郷土資料館